

### Contents

- \*特集：耳鼻咽喉科  
[アレルギー性鼻炎の最新治療]
- \*腹部救急ホットラインについて
- \*感染症科医のつぶやき
- \*開業医探訪  
「瀬戸本医院」
- \*講演会のご案内

### 神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して、皆様に愛される病院を目指します。

### 基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない！救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

### 社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47  
TEL: 078-261-6711 (代表)  
FAX: 078-261-6726  
URL: <http://www.shinkohp.or.jp/>  
発行責任者: 理事長 山本 正之  
編集責任者: 神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの  
詳しい情報は  
こちらから!!

神鋼記念病院 検索

<http://www.shinkohp.or.jp/>

### 東神戸糖尿病トータルケアを考える会

Info 1

- ◆日時：2017年2月9日(木) 19時30分～21時00分
- ◆場所：神鋼記念病院 呼吸器センター 5階 大会議室  
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL: 078-261-6711)
- ◆講演 I: 「SGLT2 阻害剤と運動療法による糖尿病治療の展望」  
座長：ろっこう医療生活協同組合 東雲診療所 所長 小西 達也 先生  
演者：神鋼記念病院リハビリテーションセンター 理学療法士 藤沢 千春
- ◆講演 II: 「高齢者糖尿病運動療法 Next Stage」  
座長：神鋼記念病院糖尿病・代謝内科 科長 竹田 章彦  
演者：大阪市立総合医療センター  
糖尿病内分泌センター長 糖尿病内科部長 細井 雅之 先生
- ◆その他：・日本医師会生涯教育認定講座 1.5 単位  
・お弁当をご用意させて頂いております

### 神鋼ウロフォーラム

Info 2

- ◆日時：2017年2月16日(木) 19時00分～20時30分
- ◆場所：神鋼記念病院 呼吸器センター 5階 大会議室  
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL: 078-261-6711)
- ◆講演 I: 「当院における前立腺がんホルモン治療の現状  
～デガレックスとエンザルタミドの位置づけ～」  
座長：まつもと泌尿器科 院長 松本 修 先生  
演者：神鋼記念病院泌尿器科 医長 三浦 徹也
- ◆講演 II: 「前立腺がんに対する最新放射線治療」  
座長：神鋼記念病院泌尿器科 部長 山下 真寿男  
演者：神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科 部長 西村 英輝 先生
- ◆その他：・日本医師会生涯教育認定講座 1 単位申請中  
・軽食をご用意させて頂いております

### Shinko Pathology Conference -Breast Cancer-

Info 3

- ◆日時：2017年2月23日(木) 19時00分～20時15分
- ◆場所：神鋼記念病院 呼吸器センター 5階 大会議室  
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL: 078-261-6711)
- ◆一般講演：「HER2 陽性進行再発乳がんにおける治療経験について」※予定
- ◆特別講演：「乳腺病理 最近の考え方」  
演者：川崎医科大学 病理学2 教授 森谷 卓也 先生  
総合司会：神鋼記念病院乳腺センター長 山神 和彦
- ◆その他：・日本医師会生涯教育認定講座 1 単位  
・軽食をご用意させて頂いております

### 第17回 神鋼外科フォーラム

Info 4

- ◆日時：2017年3月16日(木) 18時15分～
- ◆場所：神鋼記念病院 呼吸器センター 5階 大会議室  
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL: 078-261-6711)
- ◆一般講演：「当院における胃全摘後の食道空腸吻合」  
座長：神鋼記念病外科 部長 上原 徹也  
演者：神鋼記念病外科 桂 彦太郎
- ◆特別講演：「胃がん手術の Next Stage」  
座長：神鋼記念病外科 部長 上原 徹也  
演者：兵庫医科大学 上部消化管外科 主任教授 篠原 尚 先生
- ◆その他：・日本医師会生涯教育認定講座 1.5 単位申請中  
・軽食をご用意させて頂いております

[特集 耳鼻咽喉科]

## アレルギー性鼻炎の最新治療

アレルギー性鼻炎の治療法には、「薬物療法」・「免疫療法」・「手術療法」・「抗原除去と回避」の4つがあります。それぞれの治療法には、日進月歩で新しい方法が登場しています。今回は最新のアレルギー性鼻炎の治療法を紹介します。

### 【手術療法】 内視鏡を用いて粘膜を剥離する

アレルギー性鼻炎の手術といえば、鼻の粘膜をレーザーで焼く治療が有名です。しかし、鼻の粘膜を操作する手術は再発率が高いことが課題でした。そこで、最近では内視鏡を使って鼻の粘膜の下を走っている神経を切断して、鼻汁を減らす手術が行われています。

その最新術式が当院で行っている「選択的後鼻神経切断術」です。この手術は鼻腔にある下鼻甲介の粘膜の下を走行する神経だけを切断します。

これまでの下鼻甲介手術は、下鼻甲介の粘膜下にある骨とその周囲の組織を目視で取り除くという方法でした。しかし、内視鏡を用いてきれいに下鼻甲介の粘膜を剥離できるようになると、粘膜下を走行している神経血管束を確認で

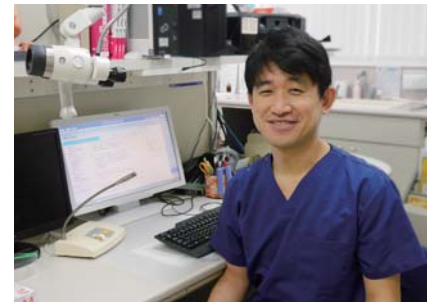
きるようになりました。

粘膜を傷つけずこの神経血管束だけを切断するのが我々が行っている選択的後鼻神経切断術です。

この手術は神経を処理するため、鼻汁の分泌を抑える効果が持続します。これまでも後鼻神経を切断する術式はありましたが、鼻腔すべての範囲で神経を切断するため、鼻の機能を弱くしすぎる点が懸念されていました。

当院では、選択的後鼻神経切断術をこれまで200例以上行っています。この手術によって、鼻汁・鼻閉は著明に改善し、喉の違和感といった軽症の合併症が5%程度しかおこりません。

ですから、この手術は重症以上のアレルギー性鼻炎で薬を使った治療ではなかなか思ったように鼻汁・鼻閉が改善しない人や、ずっと薬を飲み続けたくない人にお勧めできる治療です。



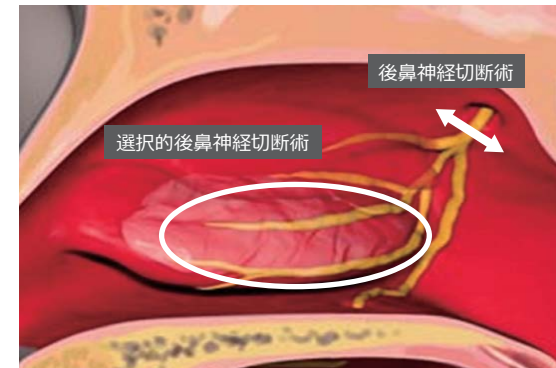
耳鼻咽喉科 科長 浦長瀬 昌宏  
Atsuhiko Uranagase  
平成15年に神戸大学を卒業。  
日本耳鼻咽喉科学会専門医、身体障害判定医師、  
補聴器適合判定医師などの資格を持つ。

手術は全身麻酔または局所麻酔どちらも行っています。現在は入院して行う手術ですが、日帰り手術もできるようにしたいと考えています。もし、このような患者さんがいらっしゃいましたら、神鋼記念病院耳鼻咽喉科へご紹介をよろしくお願い致します。

### 【薬物療法】 眠気が起こりにくい新薬

抗ヒスタミン薬はアレルギー性鼻炎でもっとも処方されている薬です。2016年11月に新しい抗ヒスタミン薬が2種類処方できるようになりました。

まず、ひとつはビラノアです。これまで抗ヒスタミン薬同士の効果はほとんど比較されていませんでした。しかし、ビラノアはアレグラより鼻汁、鼻閉に効果が優れているという研究成果が発表されています。この薬は空腹時に飲まなくては



【選択的後鼻神経切断術】  
下鼻甲介の範囲だけで神経を切断するので、処理範囲が狭い。

【後鼻神経切断術】  
蝶口蓋孔で後鼻神経を切断し、鼻腔ほぼすべて範囲に分布する神経を切断する。神経を切断する範囲が広いため、長期的な合併症が懸念される。

ならないので、食前は1時間、食後なら2時間空ける必要があります。

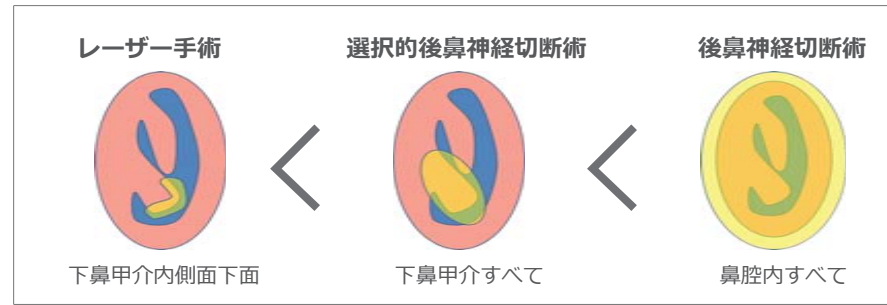
もうひとつは、デザレックスです。デザレックスは、クラリチンの活性代謝物、つまりクラリチンの改良版です。クラリチンは患者さんによっては全く効果があらわれないこともある薬でしたが、活性代謝物を薬にすることで効果があらわれやすくなりました。

これらの新しい薬は1日1回内服するだけよく、添付文書に「車の運転など機械操作への注意」が記載されていない、眠気が起こりにくい抗ヒスタミン薬です。これまで抗ヒスタミン薬を飲んで眠くたとえられていた患者さんに、処方してみたいかがでしょうか。

### 【免疫療法】 舌下免疫療法も保険適応に

免疫療法は、抗原(アレルゲン)を少しずつ投与することで、アレルギーに対して体をならしていく治療です。免疫療法を行った人の70~80%は症状が改善します。とはいえ、症状が完治する人は20~30%くらいなので、この治療を行いつつ、鼻汁、鼻閉を改善する薬を使うことが多いです。まったく効果があらわれない人も20~30%います。

免疫療法は、すぐに効果を実感でき



術式別処理の範囲

る治療法ではなく、少なくとも効果があらわれるのに3ヶ月くらいはかかります。そして、効果があらわれても最低2~3年は続けないといけないので、通院の手間がかかります。

免疫治療には、皮膚の下に抗原を注射する方法(皮下免疫療法)と、抗原を含んだ薬を舌の下に置いた後、飲みこむ方法(舌下免疫療法)の2種類あります。以前は皮下免疫療法しか行われていませんでしたが、2014年から舌下免疫療法が保険適応になりました。

舌下免疫療法は皮下免疫療法と効果はほとんど同じで次の利点があります。

- ① 舌の下(口蓋底)に薬を入れるだけでいいので、痛くない。
- ② のどの刺激感、口の中の腫れ、口や耳のかゆみと、吐き気といった軽い副作用

用がおこることがあるものの、全身に急激に起こる激しいアレルギー反応は稀で、これまで死亡事故はない。

③ 治療をはじめるとあたっての説明をする以外は、薬を処方するだけなので手間がかからない。

現在は、スギとダニで舌下免疫療法が行われています。スギは花粉症の原因として有名で、ダニはハウスダストの主な成分です。これらへのアレルギーが改善すると、アレルギー性鼻炎の症状はおさまりやすいです。当院では、スギとダニ両方で舌下免疫療法を行っています。

アレルギー体質を根本的に治したい、「薬の量を減らしたい」と考えている患者さんにお勧めしてはいかがですか。



詳細については、2017年3月(予定)に時事通信出版局より出版予定の「通院してもちょっと治らないアレルギー性鼻炎を本気で治す! (仮題)」に掲載しておりますので、ご興味のある方はご一読ください。

### 重要な お知らせ

## 腹部救急ホットラインの電話番号を変更しました

変更前	変更後
<b>腹部救急 ホットライン</b> ①080-4653-0434 ②080-4183-2845	<b>080-4653-0434</b>
<b>脳卒中 ホットライン</b> 080-4613-6238	※脳卒中・循環器ホットラインは変更ありません。
<b>循環器 ホットライン</b> 070-6500-7555	※この番号は医療機関を対象としたホットラインですので、 <b>一般の患者様には非公開となっております。</b>

## Infectious Disease Vol. 18 感染症科医のつづやき

## Infectious Disease

神鋼記念病院 感染症科 科長  
香川 大樹

### 【ルーチンの身体診察で診断できるのか?】

前は「ルーチンの問診では正しい診断につながらない」ということをお話ししました。今回は「ルーチンの身体診察では正しい診断につながらない」ということについてお話しします。

皆様は、発熱以外に症状のない患者さんにどのような身体診察をされるでしょうか。喉の奥を観察し、首を触わり、胸の音を聴くといった感じでしょうか。お腹を触る方もいらっしゃるかもしれませんが。身体診察はやりだせばキリがありません。どのように身体診察をすればいいのでしょうか?

ざっくり言うと、「ケースバイケース」です。正確に言えば、「問診した結果、挙げた鑑別診断を示唆する所見がないか身体診察すればいい!」のです。

例えば、糖尿病の患者さんの発熱では「足壊疽」が鑑別診断に挙げられます。手術を受けて間もない患者さんの発熱では「創部感染」が鑑別診断に挙げられます。寝たきりで意思疎通の出来ない患者さんの発熱では「菌性膿瘍、褥瘡感染、関節炎、深部静脈血栓症」が鑑別診断に挙げられます。このように、同じ症状でも鑑別診断は患者さんによって異なります。したがって行うべき身体診察も、「ケースバイケース」なのです。

症状が同じだからと言って、いつも同じ身体診察をしてはいけません。鑑別診断を挙げて『なぜやらないといけないか』を理解した上で身体診察をしなくてはなりません。ルーチンの身体診察では正しい診断につながらないのです。

### 開業医探訪 inquires into a doctor Vol.31

### 【外科・胃腸内科・リハビリテーション科】 瀬戸本医院

今回の開業医探訪は、JR摩耶駅から徒歩3分、先生やスタッフの方々の笑顔が印象的な「瀬戸本医院」を訪問しました。

■ 診療を開始されてどれくらいになりますか?  
父が昭和43年に開業し、平成10年から私が引き継いでいます。開業から数えると50年目になります。

■ どのような患者さんが来院されますか?  
開業当時から患者さんで80~90歳台の方や、その子供さん、お孫さんというように、親子3代に渡り来院されている方もおられます。最近では、近隣にマンションが建ち、新たにお住まいになられた方々も来院されます。

内科疾患の患者さんが中心ですが、外科的疾患・処置の必要な方や整形外科的疾患の患者さんも来院されています。高齢者の方は、複数の疾患をお持ちの方もいらっしゃいますので、総合的な診療が出来るよう心掛けています。

■ 診療にあたり心掛けていることは何ですか?  
患者さんに納得していただける診療をモットーにし、一人ひとりの訴えや悩みを時間を掛けてゆっくり聞き、それに対する適切な診療やアドバイスを心掛けています。また、専門が消化器なので内視鏡や腹部超音波の検査にも力を入れています。特に胃内視鏡は、早期の食道がんや胃がんの診断を行うために、最新の機器を導入しています。

■ ひとこと  
時間外や休日でも可能な限り対応できるようにしています。その際、症状によっては神鋼記念病院のホットラインも利用させて頂いています。在宅診療にも力を入れており、地域密着で皆様が笑顔になるためのお手伝いをしていきたいと思えます。

information

- 神戸市灘区泉通5丁目1-8
- TEL : 078-861-5027
- 診療科 : 外科・胃腸内科・リハビリテーション科
- 休診日 : 木曜午後、土曜午後、日曜祝日
- 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
17:00~19:00	○	○	○	×	○	×



院長 瀬戸本 悟 先生